

## 歯科技工士の労働実態

灘区・K.D.A Laboratory 雨松 真希人（歯科技工士）

### 【はじめに】

歯科技工士を取り巻く状況は、養成学校を卒業後5年以内に75%が離職するという異常事態となっており、今後の担い手不足が危惧されている。夢と希望をもって働きだした若者が志半ばで去っていく背景には歯科技工士の長時間労働・低賃金という劣悪な労働環境がある。

### 【労働実態】

かつてない規模で実施された2016年歯科技工士アンケート(保団連)では、ほとんどの歯科技工士が過労死ラインを超える過酷な労働実態であることが明らかとなり、自由コメント欄には悲痛な叫びともいえる現場の歯科技工士の声が多く寄せられた。

### 【成果】

実態が明らかになったことで国も実態調査を実施した。この調査結果を分析し、歯科技工問題に対する施策や、歯科技工士(所)と歯科診療所間の取引に対するマニュアルを作成し公表している。

### 【まとめ】

公的保険制度の下で働く歯科技工士がブラック産業化していることは政治的責任が大きい。歯科技工士と歯科医師が共に問題解決のために行動することが重要である。